

第 15 回北海道新幹線倶知安駅周辺整備推進委員会 開催報告

1. 日時

2024 年 2 月 28 日（水）14：00～

2. 場所

倶知安町役場 2 階 会議室



3. 議事

(1) 西口広場機能について… 資料 1

(倶知安町 植田主幹)

- ・資料 1 について説明

(木村委員長)

- ・今年度事務局から提示された 2 案のどちらかにするというわけではない。なにか質問や意見があればお願いしたい。

(倶知安町 植田主幹)

- ・町としては、今回提示の検討ケースⅠを平面案、検討ケースⅡを立駐案として検討を進めたいと考えている。

(柏谷委員)

- ・立体駐車場の屋根の上に人が登れる階段をつけられるかという点と、屋根の上に人が乗っても耐えられるものなのか伺いたい。

(ドーコン 朝倉)

- ・昨年度の検討となるが、人が乗ったり、緑化する程度であれば耐えられる荷重を想定している。

(木村委員長)

- ・活用方法については、来年度議論する流れで良いか。

(倶知安町 植田主幹)

- ・その通り。

(木村委員長)

- ・ランニングコストはそれほど変化もなく、イニシャルも大きな差があるわけではないので、利便性や景観で意見が分かれるかと思う。

(柏谷委員)

- ・ボイラー整備費は、西口広場のみで設定しているのか。

(倶知安町 植田主幹)

- ・今回提示した整備費は、資料1のP.1の緑色の線内の西口広場の融雪のみ。

(木村委員長)

- ・木質チップボイラーによる融雪は決定ではないという認識で良いか。

(倶知安町 植田主幹)

- ・町全体の検討で先行しているプール業務で木質チップボイラーの検討をしているため、一例として今回検討している。なので、木質チップボイラーによる融雪は決定ではない。

(木村委員長)

- ・融雪方法は、本委員会で議論していく必要はないということで良いか。

(倶知安町 植田主幹)

- ・そのとおり。

(木村委員長)

- ・倶知安町としては、各案のメリットデメリットについてどう考えているか。

(倶知安町 植田主幹)

- ・町としては、検討ケースⅠの方が、視界が開けて良いと思っており、段階的に整備できるという点も良いと思っている。また、駅前で再生可能エネルギーを多く使うことで、まちとしての再生可能エネルギーへの取り組み方を示しやすいイメージを持っている。
- ・検討ケースⅡは利便性を踏まえると、メリットはあるかと想定している。懸念点としては、想定よりかなり大きな屋根が整備されると思うので、個人的には、駅舎を出た時の景観が相当暗くなるのではないかと考えている。屋根の大きさ次第ではなるが、この課題をどうクリアしていけるかという点を課題として持っている状況。

(窪田委員)

- ・検討ケースⅠもⅡともにグランドレベルだと山が見えないかと思う。
- ・景観的な側面からいくと、どちらの案もどのように作るか、どのくらいお金をかけてやっていくかで解消できるのではないかと考えている。暗さも人工的な照明や素材など、お金をかければ解消できるように思った。
- ・検討ケースⅡの屋根に堆積した雪は融雪まで不要かと思う。雪があるのは倶知安らしいので、雪で景観が阻害されるというのもある意味では倶知安らしいかと思う。

(青柳委員)

- ・デメリットについて、検討ケースⅡの場合、簡単な緑化ができれば圧迫感は軽減できるかと思う。その場合、冬の間の手入れを行う問題が出てくるので、出た時の最初の景観を第一に考えるならば、検討ケースⅠになるかと個人的には思った。
- ・収支について、例えば収入部分の数値を出すことは現実的に難しいのではないかと考えている。稼働状況次第となるが、繁忙期は料金を上げるなど検討できると、選択範囲が広が

るかと思った。

(木村委員長)

- ・現在の収入は、飯山駅の立体駐車場の金額を参考にしているかと思う。今後、運営者が出てきた時に決まってくるかと思うが、建設費に対して償却していくという意味では駐車場の金額も考えていく必要がある。

(斎藤委員)

- ・収入は理解できるが、支出はどう考えているのか。

(ドーコン 朝倉)

- ・支出は、初年度にかかる整備費と30年分の維持管理運営費、借地料を含めた金額となっている。

(斎藤委員)

- ・前回の委員会から木質チップボイラーによる融雪の話が出てきて、環境にいいという意味で注目すべきやり方という印象を受けた。今回の資料では西口広場のみを対象に費用を算出しているが、今後、東口広場にも広げていくことを考えると、全体で見るとコストは安くなるのではないかと思う。
- ・現段階では検討ケースⅠの方が、コストがかかることになっているが、上記の理由から検討ケースⅠについてももう少し考えられないかと個人的に思っている。

(ドーコン 朝倉)

- ・先ほどの支出の件について補足させていただく。各整備費は耐用年数も勘案して算出している。例えば、舗装の部分や案内表示などは、耐用年数が10年や15年であり、耐用年数が経過した時に更新の費用が発生する。
- ・特に、ボイラー部分の更新費用が大きいいため、支出が大きくなっている状況。

(斎藤委員)

- ・先のことを考えると、費用負担が大きくなることが理解できた。
- ・昨年度までの検討を踏まえると、検討ケースⅡで立駐の周りに緑を配置して環境面に考慮しようという話が出ていたかと思う。

(佐藤委員)

- ・検討ケースⅠでもⅡでも、新幹線駅ができた時にこういう形であればいいかと思うが、予算を考えると徐々に整備できることが現実的なのかと思った。例えば、検討ケースⅠの立体駐車場のまず半分を2層の駐車場にして、利用台数を考慮し、徐々に整備していくようなイメージ。完成形はケースⅠが良いかと思うが、段階的に成長できるような駐車場でもいいかと思った。

(柏谷委員)

- ・利便性を考えると検討ケースⅡがいいかと思った。個人的には2階の屋根部分の緑化についてはまだまだ考えようがあるし、検討ケースⅡの1階部分も検討の余地があるかと思う。
- ・個人的に出張で新幹線を利用するようにしているが、実際利用してみるとあまり駅周辺の景観をみる時間はないかと思う。個人的にはケースⅡがいいと思っている。

(吉田副委員長)

- ・西口広場の隣接地はJR用地だったかと思う。仮に、JR用地にJRインなどを作るとなった

場合、ホテル側から駅前広場の立駐を貸してほしいという話が出てくるかもしれない。他にも連絡通路を作る可能性も十分考えられる。費用面に関しては、JR インに一部、融雪費用を負担させればいいので、その分、町の支出は下がってくるかと想定できる。

- ・景観から見ても、例えば下記に検討ケースⅡの立駐の屋上部分を開放できればビアガーデンとして活用出来たり、JR インにレストラン部門が来たとしたらそこでの活用策も出てくるかもしれない。
- ・確かに検討ケースⅠの方が、若干景観が開けるかもしれないが、ホテル等が誘致されると考えた場合、検討ケースⅡの方が使い勝手がいいかと思っている。

(一木臨時委員)

- ・機構としての立場では検討ケースⅠ及びⅡで特段意見はない。検討ケースⅡの方が駅利用者からは駅から近い場所に自動車を停められて活用できていいという点があり、検討ケースⅠは倶知安らしい自然が広がることが考えられる。旅行者目線でみると、検討ケースⅠの方が倶知安の自然を見られて、倶知安に来たことを利用者にも感じてもらえるので個人的にはいいと思っている。

(木村委員長)

- ・一木臨時委員の意見にもあったように、どちらの検討ケースでもメリットやデメリットはあり、誰目線で考えていくのかという所が一つのポイントになるかと思う。
- ・吉田副委員長の意見にもあったように、駐車場単体で考えるのではなく、駅周辺の活用を含めて考えていくことも必要かと思う。検討ケースⅡの屋上の有効活用という意味では使い勝手として確かに良くなると思うので、駅で何か人が集まる仕掛けを作るには屋上利用は大事になってくるかと思う。
- ・倶知安駅が国際的な駅として象徴的な駅になるのであれば、機能的な視点だけではなく、昨年度議論した緑化や駐車場のデザインも含めて、本委員会の推薦案として検討できるといいかもしれない。
- ・仮にJRが駅周辺敷地を活用した場合で駐車場の増築が必要になった場合、検討ケースⅠが佐藤委員の意見にもあったように段階的に増やしていくことが可能な案かと思う。

(青柳委員)

- ・仮に、立体駐車場の屋上を開放した場合、新幹線駅から直接移動することはできないのか。下から移動しないとだめなのか。

(倶知安町 植田主幹)

- ・その通り。

(斎藤委員)

- ・全体として、昨年度検討した検討ケースⅡに軍配が上がるのかと個人的に思った。検討ケースⅠのように環境に配慮した駅前広場の検討をしていると示せるのは、昨今の流れを考えると非常に重要な視点だと思う。
- ・検討ケースⅡを軸に検討を進めつつ、再生可能エネルギーを使って融雪する使いやすい駅にするという検討は同時並行で考えていった方が良い。

(柏谷委員)

- ・再生可能エネルギーの活用について、現在、駅舎全体のどの辺に活用しようと考えてい

るのか。

(倶知安町 植田主幹)

- ・町としてどこに活用していくかは検討を進めているところ。今後想定されるのは、東口広場・都市施設・西口広場であるが、全て木質チップボイラーにするというものではなく、再生可能エネルギーのどれを活用するかは、特徴に合わせて検討を進めていく。
- ・検討ケースⅠ・Ⅱの2つの案をベースに、本日頂いた意見を踏まえ、検討を進めていきたい。

(木村委員長)

- ・デザインと屋上活用も含めて、今後検討を進めていきたい。

(2) 都市施設機能について… 資料2

(倶知安町 植田主幹)

- ・資料2について説明

(木村委員長)

- ・まずは吹き抜けや階段について意見を頂きたい。

(窪田委員)

- ・吹き抜けについて、パースをみると2階の雰囲気は1階からもわかるし、2階からも改札の様子や人の動きが見えて、2階で待っている時に1階が見える安心感も作れそうだと感じたので、今回頂いた案の形で良いと思う。
- ・階段は、折れているよりもまっすぐのほうが2階との繋がりが感じられていい。案③の階段足元の造り方が抜けたような状態となっており、物販のスペースが待合部分や外から見えていいと思う。
- ・ただ、案③のように幅広に座れる階段は個人的には好きだが、パース図をみると、通路側から入ってきた人と階段に座っている人が対峙するようにも感じる。それよりは、階段の横に滞留スペースのような、駅前広場側を向いて座れるようなスペースを階段と絡めて作れるといいかと思った。

(佐藤委員)

- ・物販から登っている形となっているが、逆側から登る場合、正面にエレベーターが見えて、エレベーターの横の部分の空間が物販側と繋がれるのではないかと考えていた。
- ・吹き抜けは、1階から2階への広がりを感じられるのであったほうがいい。
- ・展望デッキは端まで伸ばした方が、雪の関係含めベターかと思う。

(木村委員長)

- ・折れ階段の方がいいというイメージでいいか？

(佐藤委員)

- ・倶知安役場庁舎の階段のイメージかと思ってみていた。私は70歳をすぎていますが、段数が多くて大変に感じている。

(木村委員長)

- ・エレベーターと階段の関係に対する意見は、資料のどのページをみるといいか。

(佐藤委員)

- ・資料の P. 10①-2 の親子が歩いている方に階段がくると、階段の位置の正面にエレベーターの入り口が見えるようになるのではないかと考えている。階段①-2 に向かって右側の壁の部分が空間となるので、物販との通りも良くなるし、物販からエレベーターにも直接いけるようになるかと思った。

(木村委員長)

- ・佐藤委員の案は、技術的に可能なのか。

(J R 九州コンサルタンツ 古賀)

- ・可能ではある。

(佐藤委員)

- ・今の案を採用した場合、屋上へ行く時に少し大回りにはなるかとは思う。

(木村委員長)

- ・折れ階段意見は他にないようなので、他の委員は直線型が希望ということでもいいか。

(青柳委員)

- ・階段はまっすぐ型がいいと思う。倶知安の場合、資料の P. 19 にある東川町の「きとろん」のような幅広の階段は、雪を考えると障害にもなりえるので、ここは優先しなくていいのではないか。

- ・階段幅が 4m であればかなり解放感も出てくるし、物販への展望も開けるのでいいと思う。

- ・2 階部分の一次滞在機能が狭まるかと思うが、これまでの案は 2 階部分が詰め込みすぎている印象があるので、かえって今の案の方がすっきりしていいと思う。

(斎藤委員)

- ・福井駅くらいの幅がとれるのであればいいが、倶知安駅の場合そこまで幅が取れないことがわかったので、P. 14②-2 か P. 21③2 2 のどちらかとなるかと思うが、倶知安駅の一方方向で場合幅 2m の階段がいいかと思う。

- ・吹き抜けについて、今の案でいいと思う。

(柏谷委員)

- ・折れ階段でも個人的にはいいと思っている。P. 22③-8 は？

(J R 九州コンサルタンツ 古賀)

- ・待合側階段からみた絵となる。

(柏谷委員)

- ・個人的にコンパクトな階段のほうがいいと思っており、折れ階段がいいかと思う。

- ・大きな荷物を広げる人を考えると、北側の階段は③-8 のようなゆりのある階段がいいと思う。

(吉田副委員長)

- ・基本的には直線階段で、吹き抜けも今の案でいいと思っている。

(一木臨時委員)

- ・都市施設として他の事例を伝えると、2 階にもものをつくとあまり人があがらないケースがよくある。どうやって人をいざなうか各自治体で苦労している。2 階が視覚的に見えるような誘い方はいいと思う。2 階の飲食店をいかに PR して誘っていくかの工夫について議論できるといいかと思っている。

(木村委員長)

- ・一木臨時委員がおっしゃった、2階への誘導は非常に大事な視点。飯山駅は2階にカフェがあるが、カフェが非常に混んでしまうので、あまり開放的にしないようにし、廊下にまで椅子を置いている状況。
- ・上を意識して景色を見てもらうという点では2階へのアプローチが非常に大事になるので、その辺を階段で演出することを考え、階段の形状（まっすぐか折れ階段か）や広さを考えるといいかと思う。
- ・俱知安駅の場合この建物のシンボルとして階段を考えてもいいかもしれない。例えば、P. 17の「sitatte Sapporo」のように、2階へ誘導するような季節的なディスプレイを考えられるといいかと思う。
- ・こどもの森は全国に3か所あり全て現地をみたが、子供達が楽しそうに座っている様子を見るといいなと思う。シンボリックな階段にするかどうかは議論してもいいと思う。
- ・窪田委員が言ったようなスケルトンを活用するのもいいと思った。
- ・展望デッキの建屋をどう活用していくのか、楽しい場としていくのかを今後議論できるといいと思っている。
- ・階段と吹き抜けについては、今の意見を踏まえ検討を進めていただく。次はトイレの議論にうつりたい。

(斎藤委員)

- ・子供便所の考え方を教えていただきたい。子供を連れて入るイメージか。

(J R九州コンサルタンツ 古賀)

- ・子供を連れて入ることと、おむつを替えるスペースと思っている。

(斎藤委員)

- ・男子用または女子用のそれぞれにおむつ替えのスペースをとっているトイレがよくあるかと思うが、今回はスペース的に配置できないということで、子供便所に配置しているという考えか。

(J R九州コンサルタンツ 古賀)

- ・例えば、お父さんと娘さん、お母さんと息子さんの組み合わせが入りやすいように、共用部分に設置している。

(斎藤委員)

- ・現在の配置案は無駄なスペースが発生しているように感じられる。全体的には広いスペースかと思うので、子供便所を再考し、女子便所や男子便所、多機能便所の面積を増やした方がいいのではないか。

(木村委員長)

- ・最近子供便所の設置が増えてきている。

(斎藤委員)

- ・1つしか便器がないのに、この機能を男子便所と女子便所に設置出来た方が効率的に配置できるかと思い発言させていただいた。

(木村委員長)

- ・スペース的にはこれ以上は難しいということで、今の配置になっているかと思う。
- ・着替えをできるように配置しているので、一般的なトイレより基数は減る分広さがあるのはいいと思うが、利用者数に対して基数が十分なのかを考えていく必要があるかもしれない。

(佐藤委員)

- ・オストメイトが駅のトレイに4か所も必要なものなのか。オストメイトを減らして、男女のトイレの基数を増やした方がいいかと思った。札幌市のアリオの子供便所はドアはなくオープンな状態だったかと思う。

(J R九州コンサルタンツ 古賀)

- ・機能的にはフルマックスのボリュームを落とし込んでおり、ご指摘の通り4か所は多いかもしれないと思っている。実際に今回は共用便所にもつけているので、共用便所がなければ多機能と男子便所、女子便所で各1か所の計3か所が対象になるかと思う。
- ・子供便所はオープンなところが多いが、今のレイアウトの場合、オープンにしてしまうと中が見えてしまうことが懸念されたため、扉を設置している。

(木村委員長)

- ・共用と多機能の違いは？

(J R九州コンサルタンツ 古賀)

- ・共用便所はLGBT対応で設置したが、多機能に近い機能になっている状況。

(木村委員長)

- ・子供便所に扉がないことについて、日本ではなんとなく理解されるようになってきたが、海外の利用者はどう感じるものなのか。俱知安駅の場合、インターナショナルな使い方をされるのでその点を考える必要はあるかと思う。

(J R九州コンサルタンツ 古賀)

- ・今後、オストメイトを設置しているブースに関しては、車椅子対応の簡易多機能と思っているので、スペース的にはオストメイトをなくしても現在の広さを確保したと考えている。

(木村委員長)

- ・オストメイトがあったほうが良いということか。

(J R九州コンサルタンツ 古賀)

- ・入るので入れている状況。

(木村委員長)

- ・トイレの基数の設定の考えを聞かせていただきたい。

(J R九州コンサルタンツ 古賀)

- ・基数は、百貨店・量販店の器具数を基に算定している。現時点では、都市施設の床面積から施設利用人数を約400人と算定しており、男性200人、女性200人の利用と設定している。この人数を基に、男性便器と女性便器の基数を設定している。

- ・1点、男性の便基数について、対応人数に対し基数が多いことから、1基減らすことは考えられる。

(木村委員長)

- ・いかにこの施設がはやるか、駅利用者がどれだけなのかが見えない段階なので、現時点で

はこれ以上議論が進まないかと思う。

(吉田副委員長)

- ・女性便所と男性便所の位置関係について、妊婦さんは男性便所の前をとおるのはいやじゃないかと思った。女性トイレが混んでいる様子をよく見かけるので、共用便所も妊婦さんに限定しないで、女性がもっと利用できる基数にした方がいいように思った。

(窪田委員)

- ・女性としては並ぶのがいやなので数は確保してほしい。男子共用があれば入りにくいというはあるが、いざとなればいくと思う。

(倶知安町 植田主幹)

- ・共用トイレに関しては、当然女性の方やLGBTの方の利用もあると思うが、女性トイレの前に男性が通るのが嫌だというケースも考えられる。

(窪田委員)

- ・向かい合っている入り口が、少しずれているだけで印象は変わると思う。

(倶知安町 植田主幹)

- ・今の意見を踏まえ、再検討する。

(木村委員長)

- ・続いて情報発信機能について意見をいただきたい。

(柏谷委員)

- ・情報発信機能と物販機能の線引きはまだまだ先でもいいかと思ったが、もう決めた方がいいものなのか。

(J R九州コンサルタンツ 古賀)

- ・現段階では調整可能と考えている。

(柏谷委員)

- ・商工会議所で情報共有させていただいた時の意見を報告させていただく。確か、前回の資料では、2階の飲食スペースが時間で区切られる場所になっていたかと思うが、夜間等、1階が閉まっても2階だけ利用できるような区切り方はできないのかという意見、その場合に2階のトイレスペースが現状の内容で足りるのかという意見があった。

- ・階段について開放感がもとめられる一方、高所恐怖症に感じられる方もいるという意見もあった。

(木村委員長)

- ・今の意見は、今後深めていくということで良いか。

(倶知安町 植田主幹)

- ・仰るように、施設の運用方法は今後検討と思っている。

(木村委員長)

- ・カウンターというのは、移動案内等を行う案内人が座っているイメージで良いか。

(倶知安町 植田主幹)

- ・現在、カウンター機能については幅広にとっており、荷物の一時預かり等の利用を想定している。

(木村委員長)

- ・カウンターは必要だと思う。道南バスやニセコバスさんから、希望等があれば伺いたい。
(ニセコバス)
- ・二次交通ということで、路線バスの初時刻や乗り場案内を発信していただきたい。
(倶知安町 植田主幹)
- ・道南バスさんは欠席です。
(木村委員長)
- ・二次交通は別な会合で検討していただいたほうが良いと思っている。
(吉田副委員長)
- ・情報発信機能に関する観光協会の動きとしては、羊蹄山麓と蘭越町の観光協会に声をかけて、振興局中心に情報発信の運営方法に関する議論を、今年の3月に初招集をかけて行う予定。
- ・トヨタレンタリースから、情報発信機能ブースの一部の借り上げをすでに希望されている。
(木村委員長)
- ・レンタカーについてはホテルのフロントみたいな機能を使わせてほしいというような話が出てくると思うので、十分議論した方がよい。例えば、旅の案内についてレンタカー屋さんにも聞かれても、隣の観光案内所で聞いてとされることが越後湯沢駅ではおきている。
- ・多目的室があるが、がらんと空いているようなことにならないような空間使いができる空間にしておいたほうが良いと思う。コワーキングスペースは最近よく言われているが、新幹線通学があまりないことを考えると学生が利用するということはないかもしれない。
- ・飲食店が入っている場合、においが気になる場合がある。旭川駅の場合、ラーメンが食べたくなるようなにおいとなるので、この点も気にされるといいかもしれない。

(3) 駅舎デザイン案に係る推薦書について（駅舎デザイン推薦案の検討）… 資料3

(倶知安町 植田主幹)

- ・資料3について説明
(木村委員長)
- ・現段階で構成について質問や意見があれば頂戴したい。
(一木臨時委員)
- ・付帯意見は率直な意見を頂けたらと思う。例えば、暖かみの感じられる内装材を使ってほしい、地元の有名な石を使ってほしい、こういったものを表現してほしい等、具体的な意見から抽象的な意見まで、意見をつけていただけたらと思う。

4. その他

(倶知安商工会議所・柳沢)

- ・資料1のP.2で30年間のケースとして収支の検討結果が記載されているが、これは倶知安町直営の場合かと思う。シミュレーションを提示するならば、収支がゼロになるよう、稼働率や駐車場料金を設定した方がよいかと思う。
- ・資料1のP.8にある新幹線ホームから旭ヶ丘公園を望む景観とあるが、下り方面かと思う。下り方面ということは函館や東北方面からの利用者かと思い、その人たちが旭ヶ丘公園の

山頂が見えなくても懸念事項にならないように思った。

- ・都市施設については、階段に座るな・遊ぶなという世代なので、階段でくつろぐというのは抵抗感がある世代もいる。ある程度天井の高さがあるかと思うので、女性にとってはスカートの中がみえていやだという人もいるかもしれない。

(木村委員長)

- ・貴重な意見ありがとうございます。収支についてはご指摘の通りかと思う。
- ・景観については、乗降客を考えればご指摘のとおりかと思うが、屋上の活用を考える場合、景観の視点は非常に大事になると思っている。これまでの議論で、駅を見た時のデザインや景色、景観も大事にしたいとあるので、この点も含めて総合的に判断していく必要がある。
- ・階段については、私もいい年なので同じ気持ちではあるが、色々と面白いデザイン案が出てきているので、そこも含めて検討を進めるとともに、ご指摘の内容を十分に注意していく必要があると思っている。

(倶知安町 植田主幹)

- ・今後年度内あと1回開催と思っているが、3/27PMで調整は進めている。次回は勉強会の開催になるかもしれないことご了承いただけたらと思う。

以上